



新しい保険証は9月20日以降に国保加入世帯に郵送

保険証（国民健康保険）が10月から更新されます。

現在ご使用の国民健康保険の保険証は、9月30日で有効期限が終了します。10月から使用できる新しい保険証が届きましたら、ご使用前に次の事項をご確認ください。

加入者分の保険証があるかどうかの確認を

保険証は世帯主あてに各世帯分を一括お届けします。

加入者全員分の保険証が同封されているかご確認ください。

内容の確認を

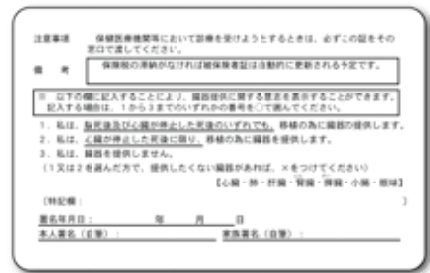
お名前、ご住所など記載内

保険証表面



国民健康保険の保険証は、1人1枚のカード型です。

保険証裏面



臓器提供（拒否含む）の意思表示が可能になっています。

容に誤りがないかご確認ください。誤り等がありましたらご連絡をお願いします。

有効期限は9月末

新しい保険証の有効期限は、平成25年9月30日までとなっています。

なお、平成25年9月30日までの間に「75歳に達する方」、「退職国保資格で65歳に達する方」などは、有効期限が異なっています。

新しい保険証の色は

一般用が緑色、退職用が橙色となります。

使用する際は

送付用の台紙からはがし、保険証を医療機関に提示してください。

高齢受給者証や福祉医療受給者証をお持ちの方は、保険証に受給者証を添えて提示してください。

古い保険証は破棄を

古い保険証は、間違いを避けるため必ずご自分で破棄してください。

高齢受給者証、介護保険証、福祉医療受給者証などと間違えないように注意してください。

臓器提供意思表示欄

保険証の裏面に臓器提供意思表示欄が設けられています。この欄への記入は任意であり、記入の有無・記入内容が保険証使用に影響することはありません。

国民健康保険税は納期までに納めましょう

国民健康保険税は加入者の皆さんの医療費に充てられる大切な財源ですので、納期までの納付に引き続きご協力をお願いいたします。

特定健診・後期高齢者健診・各種がん検診
休日健診を追加実施します。

本年度これまでに実施した健診等を受診できなかった方など市内全地区を対象に、休日健診を追加実施します。あらためて申し込みたい方は、保健福祉課 健康増進係

まで連絡をお願いします。
□期日 10月28日(日)
□受付 7時30分～9時30分
□会場 飯山市保健センター
この機会にぜひ受診をお願いします。

高齢者へのインフルエンザの予防接種助成について

今年度もインフルエンザの発症・重症化予防のため、インフルエンザの予防接種が始まります。希望される方は、予防効果を最大に發揮するため、できるだけ12月中旬までに各医療機関で接種してください。（義務接種ではありません）

医療機関に直接お申し込みください。

■対象者 市内在住の方で①接種日現在65歳以上の方②60歳以上65歳未満の方で心臓、腎臓、呼吸器等に重い病気のある方

■接種費用 自己負担1000円で1回の接種が受けられます。（1人1回限り）（生活保護世帯の方は、自己負担が免除になります）

■申し込み方法 希望者は

委託予定医療機関

・飯山赤十字病院 624195
・服部 医院 622816
・片塩 医院 622136
・畑山 医院 672888
・清水 医院 622351
・北信州診療所 651200
・小田切 医院 622039
・みゆき会クリニック 813850
・戸狩診療所 653995
・いいやま診療所 670100
他市外医療機関

都市計画の変更案の縦覧について

県では、飯山都市計画区域の整備、開発および保全の方針の変更にあたり、下記により都市計画の変更案を縦覧します。また、意見書については、縦覧期間中に縦覧場所に持参または郵送で提出することができます。（メールやファックスでは提出できません）

■期 間 10月1日（月）～10月16日（火）（予定）
（変更の場合は県ホームページまたは飯山市ホームページでお知らせします）

■場 所 長野県都市計画課、北信建設事務所 整備課
飯山市 まちづくり課

■問い合わせ先
長野県 都市計画課 ☎ 026-235-7297
北信建設事務所 整備課 ☎ 0269-22-3111（内線 364）
飯山市 まちづくり課 ☎ 62-3111（内線 242）

里山整備入門講座の開催について

県では森林・林業に関する優れた知識と技術を持った「長野県林業士」が、チェーンソーの操作技術、森林の管理方法など、森林・林業に必要な技術を分かりやすくお伝えする、「里山整備入門講座」を北信地域で実施します。

森林所有者や森林整備に必要な技術・知識を身につけた方は、この機会にぜひ受講してください。

■受付人数 20名（受講料無料）先着順
■申し込み先 北信地方事務所林務課 ☎ 0269-23-0216
■受付期限 各講座の5日前まで
■実施スケジュール
講座1 9/27㊦、10/4㊦、12㊦ 18:30～20:30 森林管理の基礎（座学）
講座2 10/20㊦ 9:00～16:00 間伐の基礎（座学）
講座3 10/21㊦ 9:00～16:00 伐採作業の基礎（実習）
講座4 10/27㊦ 9:00～16:00 安全な伐採作業（実習）

飯山市戦没者・開拓殉難者追悼平和式典の開催について

保健福祉課 社会福祉係 ☎ 62-3111 内線 172

過去の大戦で、祖国や家族を守るため尊い命をささげられた戦没者や、異郷の地で亡くなられた開拓殉難者の冥福を祈り、恒久平和を祈念するため「飯山市戦没者・開拓殉難者追悼平和式典」を開催します。

参加者全員で献花を行うとともに、広島平和祈念式典に参列した中学生の作文発表や小学生による合唱などを通じ、戦争で犠牲になった方を悼み、平和への誓いを新たにします。ご遺族はじめ一般市民の皆様のご参加をお待ちしています。

■日 時 10月25日（木）午後3時～
■会 場 飯山市民会館

市内空間放射線量測定値

市民環境課 生活環境係 ☎ 62-3111 内線 191・192

8月中の市内空間放射線量測定値を公表します。測定の結果、健康に影響を与えるおそれのある数値（0.19 μ Sv/h）は測定されておりません。（月内に複数回測定する箇所は最新測定値です）

施設名（地区名）	測定日	天候	測定区分	測定値
飯山市役所（飯山）	8/29	晴れ	1m	0.07
あきは保育園（飯山）	8/22	晴れ	地表	0.07
中央幼稚園（飯山）	8/22	晴れ	地表	0.09
めぐみ保育園（飯山）	8/22	晴れ	地表	0.09
しろやま保育園（飯山）	8/22	晴れ	地表	0.08
秋津保育園（秋津）	8/22	晴れ	地表	0.08
木島保育園（木島）	8/22	晴れ	地表	0.08
瑞穂保育園（瑞穂）	8/22	晴れ	地表	0.08
いずみだい保育園（柳原）	8/22	晴れ	地表	0.07
常盤保育園（常盤）	8/22	晴れ	地表	0.07
とがり保育園（太田）	8/22	晴れ	地表	0.07
しらかば保育園（岡山）	8/22	晴れ	地表	0.11
飯山小学校（飯山）	8/22	晴れ	地表	0.07
秋津小学校（秋津）	8/22	晴れ	地表	0.09
木島小学校（木島）	8/22	晴れ	地表	0.11
東小学校（瑞穂）	8/22	晴れ	地表	0.08
泉台小学校（柳原）	8/22	晴れ	地表	0.06
常盤小学校（常盤）	8/22	晴れ	地表	0.07
戸狩小学校（太田）	8/22	晴れ	地表	0.06
岡山小学校（岡山）	8/22	晴れ	地表	0.07
//	8/29	晴れ	1m	0.08
城南中学校（飯山）	8/22	晴れ	地表	0.07
城北中学校（常盤）	8/22	晴れ	地表	0.08

最近カラダ動かしてますか？ 今年こそ運動を始めてみませんか

『血液サラサラ＆筋力アップ教室』

保健福祉課 健康増進係 ☎ 62-3111 内線 181・182・187 FAX 62-3127

『血液サラサラ＆筋力アップ教室』は、さまざまな運動や専門スタッフからのアドバイスを通じて、楽しく健康生活が身につけられるプログラムです。

体重が気になる方や体力をつけたい方、血液データを改善したい方や自分にあった運動方法を見つけない方もぜひご参加ください。



■日時・回数

11月13日～3月5日の各火曜日（全15回）午後7時～8時30分

■定 員 12名（定員になりしだい締切）

■参加費 7,000円（血液検査代、保険料、トレーニングバンド等代金）

■対象者 飯山市在住の19歳以上の方（おおむね60歳以下）

※ただし、病気等により現在治療中の方は医師に相談のうえ教室参加を勧められた方に限ります。また心臓疾患で過去に治療された方は参加できません。

■申込方法 電話またはFAXでお申し込みください。

戦争を後世に語り継ぐ



広島平和学習の成果を足立市長へ報告後、記念撮影した参加者

戦争の悲惨さと平和の大切さを、戦争を知らない世代に学んでもらい、多くの皆さんに伝えてもらうため、8月5日、6日の2日間、城南・城北の各中学校から選抜した10名が「広島平和学習」に参加しました。

参加した中学生は、「平和記念式典（広島市原爆死没者慰霊式・平和祈念式）への参列を通じ、平和について多くのことを学びました。参加した皆さんの感想文を一部要約して紹介します。

城南中学校 小澤 央

平和学習は、平和記念式に参加するのが全体の目的でしたが、僕はもう1つ目的を持っていました。それは広島に行ったら誰でもいいから外国人にインタビューしてみることでした。

平和記念式典に参加後、すぐく緊張したけれど先生に通訳を手伝ってもらいドイツの人に話しかけてみました。「この戦争について、どう思いますか」の問いにドイツの方は、「ドイツは核兵器を使わなかったものの、軍力で多くの罪無き人々を殺したのは事実なので、その質問に答えるのは難しいです。私たちは何度もここに訪れることで、この事実を伝承していかなければならない。お互いに意見交換することは大切だと思っている」と答えてくれました。このインタビューで、外国人の方もこの戦争を悔やみ反省し、核廃絶を願っていることがわかりました。

今の科学では、一度作った核兵器は処分することができません。しかし全ての国が核廃絶を目指し、知恵を合わせれば必ず道は見えてくるはずです。人間は微力だけれど無力ではありません。私たちは知恵を持っています。この知恵を出し合って「核の無い世の中」を目指したいです。

城南中学校 錦織 稀女

平和学習に参加して、強く心に残ったことが2つあります。

1つは、平和資料館です。原爆投下の実際の写真や、がれき、溶けた物、遺品などがありました。その中に、核兵器反対を呼びかける抗議文がありました。壁一面をびっしり埋め尽くす程です。その数、通算599通。1枚1枚とても心に響きました。そのほかにも広島に投下されたリトルボーイの模型を見た時、こんな物で全てが失われたんだと思うとゾッとし、同じ人間が作ったなんて恐ろしくもあり、悲しくもあります。資料館で見て感じてきたことは一生忘れません。

2つ目は原爆死没者慰霊式・平和記念式典です。平和について考えなくてはと気付かせてくれました。広島市長や遺族、子ども、被爆者代表の方々のお話を聞いて、平和を求める気持ち、核兵器の恐ろしさが伝わってきました。8時15分の黙とうは、「今まさに投下の時にいるんだ」「一瞬で全てが消えた」「平和になるには・・・平和とは・・・」そんな事を考えました。

亡くなられた方々、被爆され今でも苦しんでいる方々の事を忘れてはならないと思いました。そして未来に伝えていくことが私たちの使命だと心に感じました。

城南中学校 岸田 夕依

原爆投下から67年後の8月6日8時15分。広島で「平和の祈り」黙とうをささげることができました。黙とうでは、前日に学習した原爆のことを思い胸が苦しくなり、目を開けたら自然と涙がたまっていました。

平和記念資料館では、目をおおいたくなるほどの写真や当時の物が展示されていました。広島はすべてをさげ出して、二度とこんな事が起きないようにと、世界に平和を訴えかけているのだと思いました。

資料館で一番心に残ったのは、「焦土に咲いたカンナの花」です。焼け野原に凜と咲くカンナの花は、残された人々に強く生きる勇氣と希望を与えた感動の花だと思いました。

平和祈念式典では、小学6年生2人による、「辛い出来事を同じように体験することはできないけれど、私たちは想像することによって、共感することができます」という「平和への誓い」の言葉が印象的でした。

今でも苦しみ、辛い思いをしている人がたくさんいます。私たちがすることは、辛い経験をした方たちの、平和への願いや希望を受け止めて、平和の大切さを受けつなぐ事だと思いました。この平和学習を通して、戦争の悲惨さや平和への願いを強く感じる事ができました。この経験をこれからのために役立てていきたいと思います。

城南中学校 弓削 眞子

私は、平和学習が近づくにつれて、戦争の悲惨さと向き合えるのか不安になっていました。ですが実際に広島に行き、戦争・原爆について詳しく知ると、「来て良かった」「知ることができて良かった」と思えました。

資料館では直視することをためらうような写真や遺品などもありましたが、原爆の威力を知り、より強く「戦争はあってはならない」と思えました。

平和記念式典では、想像を超える大勢の人に驚き、テレビの中だった広島の式典に、自分が参加したことは、一生心に残る出来事でした。黙とうと小学6年生の平和への誓いは、言葉がまっすぐに伝わってきて涙が出そうでした。原爆が投下された時間に、たくさんの人が平和を願い祈る中にいることができて、胸にこみ上げるものがありました。式典には外国の方もたくさんいて、世界にも平和を願う人が多くいると実感でき、「戦争はしてはいけない」ということが世界に広まってほしいと思いました。

この2日間で戦争の悲惨さや原爆の被害の大きさについて深く考え、これから自分たちが平和な世界を創っていかねばならないと実感することができました。貴重な体験をありがとうございました。

城北中学校 小林 凱人

広島に行ったことがある人は、絶対に何かを思ったはずです。

広島ではこんなことがありました。今から67年前の8月6日8時15分、一発の原子爆弾が広島に投下されました。たった一発の爆弾によって広島は街は爆風が駆け巡り、火の海となりました。たくさんの人の尊い命が一瞬のうちに奪われました。建物の下敷きになった人、大やけどを負った人、家族を探し叫び続ける人。今でもその後遺症に苦しむ人がたくさんいます。

戦争によって奪われた一つひとつの命の重み。残された人たちの生きようとする強い気持ち。この原子爆弾の怖さを皆さんに伝えておきたいという思いを心に強く抱きました。

辛い出来事を同じように体験することはできないけれど、僕たちは想像することによって共感することができます。悲しい過去を変えることはできないけれど、僕たちは未来を創るための夢と希望を持つことができます。平和は僕たちで創るものです。身近なところにできることがあります。違いを認め合い、相手の立場になって考えることも「平和」です。思いを伝え合い力を合わせ支え合うことも「平和」です。僕たちは平和をつくり続けます。皆さんも共に平和をつくっていきましょう。

城北中学校 岡本 千優

1日目に資料館などの施設を見学して、勉強した以上に戦争の悲惨さを強く感じました。特に原子爆弾の威力が模型を使って表されていて、あらためてその強さに驚きました。

2日目には平和記念式典では、8月6日にあの場所にいることができたことは、とても貴重な経験になり、多くの方々が戦争の悲しみと闘っているんだなと思いました。黙とうの間僕は「今、この瞬間に原子爆弾が投下されたんだ・・・」と思っていました。でも全く想像はつきませんでした。僕たちは平和な国、平和な時代に生まれ育っているのに、このような機会がないと平和について深く考えることはないと思いますが、このあたりまへの生活が、いかに幸せかということをあらためて実感しました。

平和とは、戦争がないことだけではないと思います。犯罪や「いじめ」などがあれば、それはもう平和ではなく、世界の平和は、まず一人ひとりの平和からだと思います。

今回の平和学習で学んだことを、学校の仲間や多くの人に伝えて、二度と戦争をしてはならないという思いが、これから先いつまでも引き継がれていかなければならないと思います。最後に、このような機会を与えてくださり、ありがとうございました。

城北中学校 酒井 ほのか

私が広島平和学習に参加し、感じ思ったことは、戦争の残酷さです。平和資料館では、体や皮膚が焼けただれていたり、泣きながら家族を探す人がいたり、その残酷さが身にしみてわかりました。また、原爆ドームの模型を見てあらためて原爆の恐ろしさと威力を感じました。

平和記念式典では、小学生の子どもたちが平和の誓いを宣言していました。私が小学生の時は、戦争のことや原爆のことは理解できなかったと思います。

また、いまだに原爆の後遺症で苦しむ人たちがたくさんいると知って、すごく胸の痛い思いをしました。

資料館に8月6日の8時15分で動きが止まっている時計がありました。その時計が物語っていることは、戦争や原爆でおきた悲劇を、もう二度と起こさないということだと思います。

一発の原子爆弾で大勢の尊い命が奪われてから67年が経ちました。戦争の悲しみを私自身が体験することはできないけれど、資料などを見て知ることができます。戦争を知らない私たち世代が、戦争の恐ろしさや後遺症に苦しんでいる人たちの思いを、多くの人に伝え、次の世代へと語り継いでいくと強く思いました。

城北中学校 金井 菜央

私が一番印象深かったのは資料館を訪れたことです。展示の中には、原爆投下直後の人体の模型やケロイド状になった体、被爆した方々の爪などがあり、たった一発の原子爆弾でこれだけの被害があることを強く訴えかけていました。中には原爆投下時に座っていた人の影がそのまま壁に残っている展示があり、解説には「座っていたのは、うちの家族です」という問い合わせが殺到したと書いてありました。家族の遺体が残っていないなか、一人でも多くの家族を見つきたい。きっと私も同じように考えたと思います。

平和記念式典での1分間の黙とうは、とても長く感じましたが、その一瞬で全ての大切な家族、友人、物を消し去ってしまったと考えるだけで言葉にできなくなります。

67年前の8月6日午前8時15分。広島で多くの命が奪われたのと同じ日、同じ時間に黙とうをささげられた事は、貴重な体験の場をいただきました。

原爆を体験した方々がご高齢になっているので、戦争の恐ろしさ、悲惨さを伝えていくのは私たちしかいけません。二度とこんな悲劇を繰り返さないようにしていくのが私たちの役目であり、心の底から平和を願いそして祈っています。

城北中学校 三ツ井 大志

平和学習に行って感じたこと、思ったことを伝えたいと思います。

1日目は、原爆についての資料館に行きました。そこには、焼け焦げた弁当や三輪車、ガラスの刺さったままの壁などがありました。当時の写真は、目を背けたくなるような物もたくさんありました。それらの物が原爆や戦争の怖さを物語っていました。

他にも、被爆者の体験や後遺症についてのビデオを見ました。特に後遺症は悲惨なもので、原爆で助かったとしても、決して安心して生きられる訳ではないと思い知らされました。

2日目は、平和記念式典に出席しました。印象に残ったのは、小学6年生の平和の誓いです。「平和を創っていくのは僕たちです」の言葉を聞いて僕は、資料館で見たことや平和記念式典で聞いたこと全てを、身近な人に伝えていこうと思いました。それが誓いの言葉にあった「平和をつくること」の第一歩だと僕は思います。

僕はこの2日間で体験したことを決して忘れません。たった一発で町を破壊した原爆の怖さや、その後遺症の恐ろしさを伝え、今ある平和をこれから僕たちが守り続けていきたいと思います。

木島平

北信州 木島平 秋の観光情報
収穫の秋と馬曲温泉開湯 30 周年！

実りの秋、9 月から 10 月にかけて、特産の木島平米・名水火口そばの収穫体験や収穫祭が開催されます。また、やまびこの丘公園では、秋を彩る「ダリアまつり」が開催されます。260 種約 2 万本が咲き誇るダリア園へもお出かけください。
▼ 9/23 ㊤そば花まつり ▼ 9/30 ㊤稲刈体験 ▼ 9/15 ㊤～ 23 ㊤ダリアまつり第 1 弾 ▼ 10/6 ㊤～ 8 ㊤ダリアまつり第 2 弾 ▼ 10/27 ㊤・28 ㊤馬曲温泉まつり（開湯 30 周年記念）▼ 10/28 ㊤新米まつり・にこにこファーム感謝祭
【問い合わせ】木島平村観光協会 電話 0269-82-2800



野沢温泉村

小山オサム氏
絵画「奥信濃の春」を野沢温泉村へ寄贈

8 月 1 日、野沢温泉村に親戚をお持ちで関係の深い、画家の小山オサム氏から、120 号の大作となる絵画「奥信濃の春」を寄贈していただきました。画伯は、これまで当村の「おぼろ月夜の館」にて数々の個展を開き、また今年 4 月には画業 50 周年を記念した「小山オサム大作展」を開催したことから、当村への感謝の気持ちを込めての寄贈となりました。この大作は、現在村長室に展示されています。



栄村

森宮野原駅前に
写真と絵手紙の大きなパネルが完成

森宮野原駅前の一画に大きな村内の風景写真と絵手紙 40 点が飾られ、関心を集めています。これは商工会、駅前商工振興会、村が商店街の活性化を目的に作成したもので、震災により被害を受け、解体を余儀なくされた住宅や店舗の跡地、3 箇所に設置されています。写真は『フォトくにさかえ』の皆さんが撮影したもので、四季折々の村内の風景や行事の様子を中心に 20 点が、絵手紙は村民の方が、全国からの支援に感謝の気持ちを描いたもの 20 点が飾られています。お近くにお越しの際は、ぜひご覧ください。



国民年金保険料の後納制度が始まります。
国民年金保険料の後納制度とは、「年金確保支援法」によって、2 年を経過して納付できなくなった国民年金保険料を納付できる制度です。この保険料の後納制度によって納付できる保険料は、過去 10 年以内に納め忘れがある国民年金の保険料です。国民年金保険料は、2 年前までしかさかのぼって納めることができませんが、後納制度によって、この 2 年を超え 10 年前までの納め忘れした保険料を納付できます。保険料の後納は、平成 24 年 10 月から平成 27 年 9 月までの 3 年間行われるものです。
後納制度を利用できる方
保険料の後納制度を利用できる方は、次のような方たちです。
○ 20 歳以上 60 歳未満の方で、過去 10 年以内に納め忘れの期間や未加入期間がある方。
○ 60 歳以上 65 歳未満の方で、過去 10 年以内に納め忘れの期間や未加入期間、さらには任意加入期間中に納め忘れの

期間がある方。
○ 65 歳以上の方で、年金の受給資格がなく、任意加入をしている方など。
なお、この後納制度は、現在老齢基礎年金を受給している方は対象となりません。
後納保険料の額
後納制度によって納めることができる保険料（後納保険料）の額は、納付しなければならなかった当時の保険料額に一定額が加算された額となります。（詳しくは年金事務所まで）
後納できる保険料の順序等
後納できる保険料には順序があり、過去 10 年までの保険料のうち最も古い分の保険料から納めることになります。また、一部免除期間のうち免除されない部分が未納となっている期間についても、この保険料の後納ができます。
後納に関するお問い合わせ先
○ 年金保険料専用ダイヤル 0570-011-050
○ 長野北年金事務所 026-244-4100
長野北年金事務所の出張年金相談
相談日 9 月 27 日（木）・10 月 25 日（木）
時間 午前 10 時～12 時
午後 1 時～3 時
場所 飯山商工会議所

こくみん
年金シリーズ
365飯山市の防災体制を再確認
飯山市総合防災訓練東小学校で実施

9 月 1 日 東小学校周辺（瑞穂地区）

防災の日である 9 月 1 日、平成 24 年度飯山市総合防災訓練が瑞穂地区東小学校グラウンドおよび周辺地域で行われ、瑞穂地区住民をはじめ 11 団体約 440 名が参加しました。

「午前 6 時 50 分頃県北部で震度 6 強の地震が発生」の想定で行われた訓練では、防災無線による緊急地震速報で始まり、火災や倒壊家屋への対応、緊急車両の通行を確保する非常線設置訓練、避難所への避難訓練、緊急物資輸送訓練、救護訓練、炊き出しなど想定される各種訓練が行われました。



昨年の長野県北部地震以来、北信地方でも地震が頻発しています。このような訓練に参加することで防災の知識を身につけ、災害発生時へ対応するため日頃の備えが重要です。家族はもちろん地域や職場でも考えてみてはいかがでしょうか。

飯山の米と水、そして内山紙。飯山高校も協力
「いいやまの酒」角口酒造店で発表

8 月 28 日 角口酒造店（太田地区）

「金崎さんのお米」生産者の金崎隆さん（太田・小境）が作った「キヌヒカリ」を使用し、角口酒造店杜氏の村松裕也さん（太田・今井）が丹精こめて酒を造り、ラベルには、阿部製紙の阿部拓也さん（伝統工芸士、瑞穂・関沢）の漉いた内山紙、ラベルの文字は飯山高校の生徒が書いた、飯山の物と人、品質と技が結集した 100 パーセント飯山産の純米酒「いいやまの酒」発表会が、8 月 28 日、角口酒造店で開催されました。

発表会では、3 人の若き職人から「いいやまの酒」に込めた思いが述べられ、新幹線開業に向けた土産物販売への意気込みも聞かれました。いいやまの酒は、1 升 3,000 円、720 ㍺ 1,500 円で、それぞれ 500 本限定販売で、ポスターの掲示してある市内の販売店で購入できます。皆さんも飯山を愛する若き職人が作り上げた「いいやまの酒」をお試ください。



「私の小学生時代は、学校から帰るとカバンを家に置いて、すぐに外へ遊びに行ってしまう子どもで、自然のなかで昆虫を採集するのが大好きでした。小・中学校、高校・大学を通じてそれほど優秀な生徒ではありませんでした。活字を読むのは好きでした」と子ども達にやさしく語りかけるのは、2000 年にノーベル科学賞を受賞した白川英樹先生。

9 月 8 日、飯山市民会館で開催された白川先生の講演会には、市内外から 400 名以上が訪れ、小中学生や高校生の姿もたくさん見られました。この講演会は、服部公民館長の要望に応え、飯山市出身の北澤宏一先生（東京大学名誉教授）の仲介で実現したもので、当日は白川先生の大学の後輩にあたる足立市長が感謝の言葉を述べ、北澤先生も講演に花を添えていただきました。講演の中で白川先生は、少年時代からのエピソードや、ノーベル賞受賞の経緯を小学生にも理解できるやさしい言葉で語られ、「教科書に載っているのは、完全に解明された事実だけで、自然界には不思議なこと、解らないことがたくさんあります。私は自然のなかで、実物を見て事実を知ること、さらに次の疑問を追及することの大切さを、学校で教えられる勉強ではなく、自分から学ぶことができ

た」とされ、自ら興味を持って学び、疑問を持つことの大切さを語りました。また、講演後には白川先生への質問の時間が設けられ、小中学生や高校生から多くの質問が出されました。「白川先生のこれからの夢は」の質問には、「多くの人に自分で善悪を



判断できるよう、科学や技術を知ってほしいし、子ども達には実験する楽しさを知ってほしい」と話し、「発明の特許などで収入は」の質問には、「個人的な収入はゼロ。日本の特許で数千円、アメリカの特許でも数百ドル程度です。個人的には金儲けに興味はないが、努力して発明した人が金銭的に困るのも問題だとの考え方もあります」と各質問に親切かつ適切な回答と助言をいただきました。講演後市民会館前では、白川先生の周りに、多くの子どもたちが集まっていました。

世界的な科学者の講演を地元で開催できたことで、子どもたちが自分の将来を考えるうえで、大きな刺激になったことと思います。